

全体会Ⅱ

司会者 それではただ今から、全体会Ⅱを行いたいと思います。全体会Ⅱの司会を担当させていただきます、川内中学校3年のLと川内中学校3年のMです。よろしくお願いします。まず、分科会Ⅱにおいて、各分科会小グループで話し合われた内容について、報告者から報告をいただきたいと思います。まず、同和問題分科会小グループAの報告の方、よろしくお願いします。

A分科会小グループA報告者 同和問題Aでは、先ほど言ったように、結婚問題についての話し合いをしました。まず最初は、自分が結婚する相手の親、もしくは自分の親に、相手が同和、自分が同和ということで反対されたときにはどうするかなどの話をしました。だいたいそんな話が続いて、最終的に高校生の先輩の言葉がまとめになりました。こういう中学生集会に来たのなら、1人でも多く仲間をつくって帰ましようという言葉が最後に出て、それがまとめになりました。報告終わります。

司会者 ありがとうございます。続いて同和問題分科会小グループBの報告の方、よろしくお願いします。

A分科会小グループB報告者 僕たちは、まず結婚差別について自分が差別を受けた人の話を聞いた感想を出しあいました。親戚で差別を受けたけれど、それでも結婚して、それを聞いたときはひどいと思ったとか、自分があったときはどうしたらいいか分かんなかったり、友達がそうなったら支えてあげたいって意見が出ました。他には、もし高校に入ったときに、人権に関するアンケートがあって、そのアンケートに、自分が親しくなりかけてる人が真面目に答えてくれなかったどうするかっていう意見が出て、みんなそれは注意するべきだって言うけど、やっぱり注意できるかどうか分からなかったり、注意ができないって意見で、やっぱりこの会を通してそういう力ができればいいなというのがまとめです。他は、学習会に入っている人と、入ってはいけない人がいるのは

おかしいという意見があったり、入れる人が決まったり、特定の場所だけが学習会に参加するのがおかしいというのがありました。あと同和地区について親に教えられるのがいいか、教えられずに後世に残さない方がいいのかという議論が出て、教えられない方がいいという意見は、間違っことを教えられたらいけないという意見で、教えてもらった方がいいという意見は、正しい知識を学んだ方がいいという意見が出て、それは人それぞれだということになりました。

司会者 ありがとうございます。続いて同和問題分科会小グループCの報告の方、よろしくお願いします。

A分科会小グループC報告者 同和問題Cでは、まず各学校の人権についての取り組みについていろいろと話をしました。それで、いろんな学校では、だいたい劇をやっているとのことでした。それでいろいろと流れていって、結局1人が1回ずつぐらい意見を言ったりしました。



司会者 ありがとうございます。続いていじめ・不登校問題分科会小グループAの報告の方、よろしくお願いします。

B分科会小グループA報告者 いじめ・不登校問題Aグループでは、最初にいじめについてどう思うかということについて話し合いました。出た意見の中には、いじめはする人とされる人と、その間に止められないけど見てる人がいる。その人からいじめてる人は、いじめをされると思われるから、いじめる人もいじめられる人も、共にかわいそうと思う。どちらの立場も苦しいからやめた方がいいと思うなどの意見が出まし

た。次にいじめはどのように起こるのかについて、いじめられる側は反抗してその態度をおもしろがったりするや、自分より弱い立場の人間が欲しくて起こるなどの意見がありました。さらにみんなの体験から、いじめられた経験を出しあい、その時の気持ちを言い合い、自分の心の中の善と悪について話し合いました。あいつは言ってもいけるけど、こいつは言えないとか、人の前ではいじめられる側になってしまうが、いじめられる子と2人だと優しくなれる。優しくできる心があることについて意見がありました。最後に、いじめをなくすために何をすればいいか。まず、いじめられる人に対して声をかける。いじめに気づくだけですごいことだと思うので、1人より2人で、2人より3人でいじめられる人に声をかけ、心の重さを軽くしていくことから始めようということ話し合いました。これで報告を終わります。

司会者 ありがとうございます。続いていじめ・不登校問題分科会小グループBの報告の方、よろしくお願いします。

B分科会小グループB報告者 いじめ・不登校分科会Bの報告をします。まずいじめの原因についてですが、1人だけ会話についていけない人がいじめられてしまう。悪口から始まる。集団の中でなかなか自分の意見が言えない人がいじめられてしまうなどのたくさんの意見が出ました。解決方法は、「①周りの人が困っている人の居場所をつくってあげることが大切」「②1人で立ち向かうのではなく、多くの人たちで立ちあがるのが大切。また、いじめられている人も1人で悩まず、周りの人や親に相談していく



ことも大切。いやと言う勇気を持ってほしい」ということです。保護者の方より、大きな問題になる前に相談してほしいという意見がありました。これで報告を終わります。

司会者 ありがとうございます。続いていじめ・不登校問題分科会小グループCの報告の方、よろしくお願いします。

B分科会小グループC報告者 分科会Bのいじめ・不登校問題Cグループから報告をします。どうしていじめが起こるのかということについて話しました。いじめはどのように起こるのか、いじめはどうしたらなくすることができるのかということについて意見交換し、誰にでもいじめたいという気持ちがあり、ストレスの発散になっているところがある。人のいいところを見つけたらいい。友達、家族、先生に相談して早く解決することが大切であるという意見が出ました。

司会者 ありがとうございます。続いていじめ・不登校問題分科会小グループDの報告の方、よろしくお願いします。

B分科会小グループD報告者 Dでは、まず自分の学校のことを話して、それから信用できる友達がいるかどうかを話しました。信用できる子がいるっていう子もいたけど、別にいないという子もいて、それはなぜかという話をしていたら、昔裏切られたことがあって、人を信じるのが怖くなったっていう意見が出ました。あと、素の自分が出せているかどうかという話をして、自分は人に合わせてしまうとか、素の自分を出せることができたら楽しいとか、素の自分を認めてほしいとかが出ました。最初は全然意見が出てこなかったけど、高校生の人や先生がアドバイスしてくれて、だんだん意見が出てきました。あと、クラスに今までで1回も話したことがない子がいるかとかも話して、あいさつはするけど話はしないとかがありました。友達に、変な自分の噂を信じられて、友達と心が離れてしまったという意見も出ました。最後に、分かれて良かったことを言い合いました。

司会者 ありがとうございます。続いて障害者問題分科会の報告の方、よろしくお願いします。

C分科会報告者 障害者問題では、最初にどんな差別を聞いたり知っているかという話をしました。差別的な発言をしたり、その発言を聞いたりして笑ったりしたり、障害のある人をいじめたり、そんなことを聞いたり見たりしたらいい気はしないが見逃してしまうという意見が出ました。自分も周りの人も変わらなければいけないという意見や、障害者とどう接していいかわからないときもあるという意見が出ました。差別的な発言はやめても、根本的な解決にはならない。いろいろと知っていったり、勉強していくことが大切という意見が出ました。これで報告を終わります。

司会者 ありがとうございます。続いて女性差別分科会の報告の方、よろしくお願いします。

D分科会報告者 私たちは女性差別について話し合いました。高校生の先輩1人の男性がいるという中で、その他は女性で話し合いました。男性・女性からイメージされる言葉をまず出し合い、その言葉はどちらにもあてはまることが分かりました。全員固定観念があることに気づき、その次に女性問題のクイズをしました。世界的に見ても、女性差別は根強いものがあるということになり、その話し合いで、例えばスリッパによる色分けや、制服のスカート・ズボンの区別にしても差別につながることはたくさんあることに気づきました。参加した先生から、女性差別をなくそうとする女性になってほしいという意見を聞き、自分もそうだなと納得することができ、差別はまず気づくことが大事だということが分かりました。今日話し合ったことは、ごくわずかなことだったけど、気づいたことはたくさんある。このことから、もっといろんな事に目を向けて生活していきたいと思います。これで女性差別についての報告を終わります。

司会者 ありがとうございます。報告していただいたみなさんは元の席に戻ってください。

まだ終了時間までしばらく時間があるようなので、付け加えるような内容や発言しきれていないことがありましたら、この機会にぜひ発言をお願いします。なお記録の関係上、発言者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。またマイク係として、板野中学校3年のKさん、応神中学校3年のNさん、Oさん、Pさんの4人がフロアをまわります。高校生の方もアドバイスがありましたらお願いします。

中学生 今まで分科会Ⅰ・Ⅱとあって、Ⅱは小グループの方で少人数でやらしてもらったんですけど。今回私は初めて参加したんで、この空気も初めてなんで、今までとどこが違う、何が違うって分からないんですけど、高校生や大人の方から見てどうでしたか。今回のは。そういう感想を聞きたいなって思うんですけど、よろしくお願いします。

中学生 応神中学校3年のCです。去年も参加したんですけど、今年も参加して、去年は友達もそんなに作れなかったんですけど、今年はめっちゃ友達が作れました。鳥取の子とかめっちゃ仲良くしてくれて、めっちゃ嬉しいし、これからも仲良くしたいと思います。今日の感想でもいいんで、誰か発表してください。

中学生 応神中学校のQです。1年です。今年が僕も初めてなので、まあ楽しかったといえば楽しかったし、今日来た人も、鳥取から来てくれた人や徳島で住んでいる人や、そういうことの感想を言ってくれば良いと思います。

中学生 なかなかね、いきなり発言するの難しいと思うんで、何回も打ち合わせして若干慣れてきている実行委員の人、できたらどンドン発言してってもらいたいと思うんですけど。



中学生 上中の2年Aですけど。今回初めて参

加させてもらったんですけど、今日本番がある前に、何回か徳島県の中学校何校かのみなさんとお会いしたことがあるんですけど、その時はまだ、今日ほど詳しく何を話すとが、小グループで話したときみたいにそんなに意見も言えなかったし、発表もできなかつたんですけど、今日は結構発表できたと思うし、いろいろ意見交換で仲良くなったではないけど、口はきけるようになった感じなんですけど。同和問題のグループにいたんですけど、結構同和問題って、いじめとかより身近にある感じではないんですけど、今日は身近になくても、人の話を聞いたりみんなで意見を出し合ったりして、結構知れたので、これから来年もしあったら、どんどん参加して行って、もっともっと、この消えていくっていうか薄れていってる同和問題の意識を、ちゃんと正確な伝え方で、知らない人とか後輩とかに伝えていければいいなと思っています。

中学生 この交流会に参加して、鳥取の子と話することができて良かった。

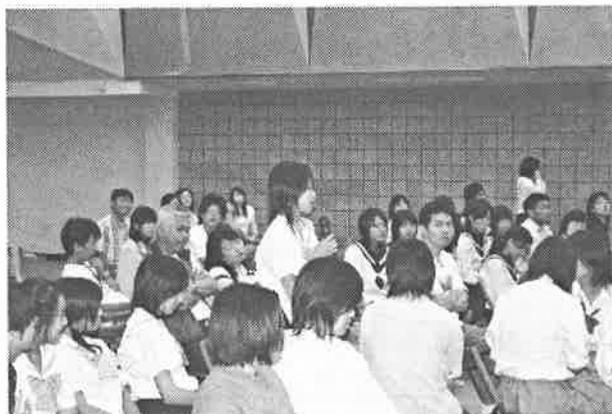
中学生 そこではしゃべりにくいんで、前へ出ました。一応Rなんで、Rで覚えてください。今日っていうか昨日もだけど、今回の交流で僕の目標は、こういう仲間をつくることと、あとこういう場で自分の意見をちゃんと発表できるようになることの2つがあって、そのどっちもが達成できたし、それよりも思った以上の収穫っていうか、もうすごい楽しかったし、だからとてもいい会になったかなと思います。今回、いろいろとありがとうございました。

中学生 僕は、中高生の交流集会に参加したんですけど、去年はマイク係と受付と弁当係だけやったような感じで、発言とかあんまりできなかったんで。今年は3年生だから最後なんで、何とか発言していきたいなと思ったんだけど、今までの何回かあった集会で、あれよあれよという間に司会とか意見発表とかの役に当たって、去年とは全く違う終わりっていうか、終わったときの心地よさっていうかなんていうか、とりあえず良かったです。

中学生 私たちは、初めてこの交流会に参加したんですけど、でもたくさん他の中学校の人の意見が聞けたり、ちょっとだけ意見が言えたりしたので、良かったです。

中学生 私は小グループCの司会をしたけど全

然まとめれんかったけん、来年また来たいとも思うし、さっき先輩がアドバイスくれたように、来年の抱負に、ちゃんと司会ができるようになっていうか、高校生やけん中学生のアドバイスとかもできるようにしたいなと思いました。



高校生 代わって私が言います。今日はほんまに見学みたいなつもりでここに来たんよ。高校生やし。ほなけん、全体を通しての感想は、みんな固いんよ。緊張しとったんよな。緊張するんは分かるけど、でもみんなが思っとる意見はちゃんとした意見で。恥ずかしいものではないんよ。ほなけんうちとしてはみんなにもっと意見を言うてほしかつたんよ。ほんで笑ってほしいし、顔もあげてほしいし、話も聞いてほしかつたんよ。ほんで「何かない？」って言うて押しつけるっていうか、意見を強要するんもあれやけん、うち勝手に分科会の方でしゃべってしまったんやけどな。ほんまに司会の子も頑張んよつたし、まとめれんて言よつたけど、でも頑張んよつたんよ。ほれにすごいと思ったし、次頑張りたいと思えるんだつたらほれでいいなと思ったんよ。何が言いたいか分からんようになったけど。うちが最初にFくんと激励の言葉して、みんなに仲良くなって帰ってほしいって、同じような意識高めて帰って行ってほしいって言よつたけど、ほれができたかできてないかは、みんなで反省してほしいんよ。ほんでやっぱりな、最後の最後まで誰かに声かけて仲間つくって帰ってほしいんよ。今日から友達だよ。こんな感じ。ほなけん、こんな感じで友達増やしていったらいいんよ。ほしたら次会うなつていうんも分かるしな、できるしな、何か楽しくなるんよ、この活動が。うちは部落出身で、最初はやっぱ部落やけんこういう活動に参加できよう

っていう理由もあるんやけど、でもうちはこの地域に生まれて、こんな活動ができて素晴らしいと思うし、もしこの地域に生まれなかったら自分はどうなっただらうとさえ思うんよ。ほなけん、みんなはここに来れとることをほんまに誇りに思っほしいんよ。会の結果がどうだったとしても、何か1個やりたいことを持って帰っほしいんよ。うちはそう思ったん。意見言うんも大事やけど、でも嫌って言う子もおるで。ほなけん、ほれをいつかちゃんと楽しかったですとかでも言うてほしいんよ。ほなけん、仲良くなって帰っほしかったです。ちゃんと次はみんなで頑張ってください。

中学生 私は今日、障害者問題について話し合いました。最初はすごい緊張してなかなかしゃべることができなかつたけど、ちょっとずつしゃべることができて楽しかったです。またアドバイスとかももらえて、これから障害者問題についてまたいろんなことを知っていききたいなと思いました。

中学生 今日僕は同和問題だったんだけど、なかなか自分の意見が言えなくて、ちょっと残念でした。だけど、友達がその分たくさんできたので、また来年も来たら友達をつくって、今度は自分の意見がたくさん言えたらいいなと思いました。

中学生 名和中学校のSです。徳島に来て、いろんな人と話ができたり友達ができたりして楽しかったです。



中学生 名和中学校1年のTです。初めて来て、いろんな話を聞けたりして楽しかったです。それといろんな人と友達になれたのがすごく良かったです。来年もたくさん友達をつくりたいです。

中学生 北暎中学校2年のUです。たくさん友

達ができたので良かったです。

中学生 今日来て仲いい子もいっぱいできたし、本当に楽しかったです。

中学生 応神中学校1年のVです。今日は、中学生交流集会は初めて来たんですけど、あんまりしゃべれなかつたけど、先輩とかしゃべってくれて、面白かったです。

中学生 応神中3年のWです。今日は鳥取の子といろんな話とかできて良かったし、分科会の方でも発表できたので良かったです。

中学生 応神中学校3年のNです。今日は、Bの分科会のいじめ・不登校で司会をやらせてもらって、X先生の助けを借りながら司会をしてまあまあ面白かつたし、市立川島の子とも結構話できたし楽しかったです。

中学生 初めてだったんですけど、協力することができて、人権に対する差別とかもみんなの意見を聞いて学ぶことができて良かったと思います。

中学生 今日初めて参加して、他の人たちと話をすることができて良かったと思います。

高校生 高校生なんですけどいいですか。今のこの雰囲気見よって、みな無理矢理言わされようみたいなんがあると思うんですよ。そんな意見聞いても全然嬉しくないんですよ。無理矢理言わされたみたいな感じになつとるけん、みんな。なんかほういうんじゃなくて、みんなが自然にっていうんではないけど、言いたっていう気持ちになつて言えるような雰囲気に、次からなつたらいいなつて思いました。

教員 すいません。教師ですけどいいですか。川内中学校のYです。たくさんの人にありがとうございますって言いたい気持ちになつたので、発言させてください。まず今日最初に4人の人が意見発表してくれたんですけど、本当にいい発表を聞かせていただいたなと思います。ぜひ私のクラスの生徒たちにも聞かせたいなと思っています。勇気を持って発表してくれた4人のみなさん、本当にありがとうございました。それから私はD分科会の担当だったんですが、D分科会女性差別の分科会に来てくれたみなさん、本当にありがとうございました。ちょっと打合せ不足なところがあって、十分話し合いができなかつたような気がして、残念に思ってる人がひょっとしたらいたかもしれないのでお詫びも

したいなと思います。でも、司会をしてくれた中学生もすごく頑張ったし、参加してくれた大人の方々、高校生の先輩たち、それから中学生のみなさんも、ありがとうございます。そこで言いたくって言えなかったんですが、参加者が一番少なかったのも、みなさんも聞いてください。自分の中にある勝手な女らしさや男らしさのイメージを押しつけるんじゃないで、自分らしさ、その人らしさを尊重して生活できたらいいなど、これは私が常々思ってることなんです。みなさんにも伝えたいと思いました。それから男の子は1人だったもので、女の子の意見がたくさん聞かれたんですけど、やっぱり多かったのは家庭での家事分担について、お父さんや、またお兄さんに女だからっていうことで強制されるっていう意見が数多く聞かれました。耳の痛い男性諸君はたくさんいるんじゃないかと思うので、ちょっと考えてほしいなと思いました。それから、あの場では言えなかったのですが、日本では男性の自殺が、女性の3倍だそうです。やっぱり男性の側もいろいろ思っていることがあって、重い責任の負わされているために苦しい思いをしている。女性差別だけではなくって、そういう男性差別、性差別のことも考えていかないといけないなっていう風にも思っています。またクイズをしたんですが、その中で、社会的な女性差別ももちろん残っています。私もあまり詳しく、勉強不足で分かっていないんですが、そういうことも、これからの世代を担っていく若いみなさんには、いろいろ勉強して考えていってほしいし、変えていく大きな力になってほしいなと思っています。それから今日のこの会を本当に支えてくださった吉成先生やたくさんの先生方、私も一応、委員のような形で参加させていただいたにも関わらず、十分なことができなかつたと思います。本当にありがとうございました。

教員 すみません、大人がしゃしゃり出ん方がいいかなと思いつながらマイクを持たせてもらいました。言わないでおこうかなってずっと思ってたんですけども、やっぱり言わないと失礼にあたるかなと思ったのでマイクを持っています。この会場においているみなさんのほとんどが、この会がどういう状況で今年行われてきたかっていうことがご存知な中で参加されてい

ると思います。さっき高校生からもありましたけども、どうして今年この会がこういう風になってしまったのかっていうところ、そこをキッチリ踏まえないと、中学生の責任に押しつけることができないと思うんです。本来ならばこの会場に来るつもりでいて、来たかって、4月の時点では予定していた中学生、中学校が大変たくさん来れなくなった、そういう状況が生まれました。この会自体を本当にするのかしないのか、できるのかできないのか、この郷土文化会館でできるのか、ほなその予算は一体どっから出るんや、ないやないかっていう議論を、何度も何度も関係の先生方で議論を重ねてきたかと思えます。本当にまいり込んだ5月、6月でした。私自身がね。自分のことを言うのも何ですけども。本当にまいり込んだです。さっき同和問題の分科会の小グループで話し合いをしている中で、ワイ何でこんなことに気がつかなんだらうって思いながら聞いてたことが、実は一つだけありました。何かって言うと、結婚差別にぶち当たったときに、一体どないすんねん、何が必要やねん、どうしたらええねん、どう考えたらええねんという話し合いをしている中で、やっぱり仲間の存在やろうっていう話になっていったと思うんですよ。「ああやっぱり、そりゃそうやな」って思ったんです。この集会ができるかどうか、するんかどうかっていうので、すごく悩み込んで困り果てていた時に、やっぱりたくさんの人から応援の言葉をいただきました。実際に動いてくれた人もたくさんおいでました。今日たくさん会場に来られている方々もそうかと思えます。北暎中学校さんなんかも、本当に急に、忙しい中駆けつけてくれたっていうのが実際のところやと思うんです。本当に無理をしながらね、鳥取から参加してくれたっていう状況かと思うんです。それは北暎中学校さんだけやなくて、県内の、今来ていただいている、朝も受付の時に、西部の若者の顔を見た時、本当に嬉しかった。「サプライズじゃ、サプライズじゃ」って言ってましたけど、ほんまにサプライズなのよ。僕にすれば。本当に嬉しかった。教員しだしてね、理由もなく2日も休んだんは僕初めてだった。理由もなく休みましたよ、ホント。へたれ込んでね。けど、そういう状況の中でもやっぱりやっていこうやないかって言っ

てエール贈ってくれて、力になれへんけどもって言って、昨日もメール送ってきてくれた三重のZさんにしても、鳥取のaさんにしろ、京都のbさんにしろ、やっぱり支えてくれてる人がいるんやなっていう中で、この会ができたんやと思うんです。そのことに対して、本当にここで感謝の気持ちを、僕だけが言うのもおかしい話かもしれませんが、僕は個人として言うべきやと思うんで、言っておきたいと思います。本当にありがとうございました。それと同時に、参加数が減っちゃった中で、どうしても話し合いが広がり深まりにくくなった今年の状況。それは今日、今回参加している中学生の責任じゃない。そのことは、みんな分かっておいてほしいと思うんです。僕も感覚としてはあります。今年はやっぱりちょっと盛りあがりに欠けるなとか。ごめんよ、精一杯頑張ってくれてるのに。本当に中学生は精一杯頑張ってくれてると思うんです。いっぱいいっぱいのところ。だけど、どうしても比べちゃう自分がいて、やっぱり盛りあがりに欠けてる部分であるなって思うんです。だけど、そうなった原因は一体どこにあるんや。何で参加数が減ったんや。何で参加校が減ったんや。その原因は一体どこにあるんや。やっていると、中学生の責任にしちゃうところがあると思うんですよ。でもそれは絶対してはいけない。絶対したらいかんことやと思うんです。数は減ったけど、今年は頑張って踏ん張ってやった。来年どうなるか分かりません。けど、来年もしやるにしても、参加数は見込めんかも分かりません。少ないままかも分からない。だからやっぱり盛りあがりに欠ける会になるかもしれません。けど、何でそうなんやっていうことを、よく見たうえでね、中学生を責めずに、やっぱり一緒に「中学生ガンバロ。しんどいかもしれんけど、こうやってOB、OG来てくれてるやん。元気な明るい高校生の姿見せてくれてるやん。輝いてるやん。そんな兄ちゃん、姉ちゃんになっていこう」っていう、そういう会に、来年するんだったらね、していきたいと思います。みんなでその点については、これからも考え合っていくたいなと思います。以上です。どうもありがとうございました。

司会者 発言者のみなさん、ありがとうございました

ました。それではこのあと引き続いて、閉会行事にうつりたいと思いますので、準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。